日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第４３号　令和８年９月発行
発行者　支部長　中谷　弥栄子
編集責任者
編集委員　中山靖子　上池美勢子
服部輝子　小倉静江
乙部恵子　松葉駿佑

日本栄養士連盟総会が横浜で開催されました



総会会場の様子



栄養士議員連盟会長　上川陽子衆議院議員

２０２６年６月２１日（日）１３：００~１６：００　パシフィコ横浜　アネックスホール２Ｆにて日本栄養士連盟第５１回通常総会が開催されました。地元での開催で、神奈川県支部から多数の連盟幹事が参加しました。

２０２６年日本栄養士連盟第５１回通常総会では日本栄養士議員連盟会長上川陽子衆議院議員、草間剛栄養士議員連盟事務局長代理をはじめ、日本栄養会議員連盟の国会議員のご臨席を賜りました。
また、（公社）日本栄養士会代表理事中村丁次会長、日本栄養士連盟井上幸子会長はじめ連盟役員地区幹事、職域幹事、各都道府県代議員の方々等、多数の参加者の中で通常総会が開催されました。

今後の活動方針

本年度は引き続き（公社）日本栄養士会等との連携を強化し政治的解決を要するものとして、以下を掲げました。

重点目標

① **会員への更なる政治意識の啓発**
② **陳情・要望活動の強化**
③ **組織力の強化**
④ **国政選挙における会員の擁立**

ご臨席の議員の皆様より御祝辞を頂戴いたしました。



田中和徳 衆議院議員



坂井学 衆議院議員



新田章文 衆議院議員



丸田康一郎 衆議院議員

「2026 年度予算・税制等に関する要望」に対する回答

日本栄養士連盟では、栄養士議員連盟に加盟する国会議員の先生方に、栄養・食生活の問題を解決するための各種制度の見直し、栄養政策への予算確保等支援要請を行なっています。

今年度は、6 つの重点事項について要望し、厚生労働省、文部科学省、こども家庭庁から以下の回答をいただきました。

1.管理栄養士・栄養士の処遇改善：令和 8 年度診療報酬改定で本体改定率＋3.09%中で賃上げ対応分 1.70%を措置する方針である。また、公衆衛生職域では専門管理栄養士認定制度の検討を進める。

2.栄養教諭に期待される役割(職責)を遂行するための配置促進：令和 7 年 4 月に栄養教諭が一層活躍できるよう、教育委員会へ積極的な活用を依頼、配置促進に努める。

3.物価・人件費等の高騰を鑑みた食事療養費及び基準費用額(食費)の引き上げ：令和 6 年度診療報酬改定で 1 食当たり 30 円、7 年 4 月から 1 食当たり 20 円引き上げたが、食材等の高騰も鑑み医療の一環として提供される食事の質を確保するため基準額の更なる見直しを検討する。

4.介護・障害福祉分野における嚥下調整食の評価の確保：令和 8 年度予算案で「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」による産学官が連携した食環境づくりへの予算計上を行った。

5.健康的で持続可能な食環境づくりの実装・定着に向けた予算措置(栄養士法の改正)：日栄への委託事業の中で疾患等の特性に応じた栄養・食生活支援に資する高度な専門性を発揮できる人材の育成を進め、栄養ケア・マネージメント研修を通じ引き続き人材育成の支援に取り組む。

6.管理栄養士・栄養士の専門性向上を支える卒後研修の充実と制度的位置付け：令和 2 年度から栄養士配置に対し加算額を拡充、引き続き取り組んでいく。

令和 8・9 年度 連盟役員紹介一覧

中谷 弥栄子（教育研究：支部長）	上池 美勢子（地域活動）◇	寺田 直央（第 6 ：会員管理）
高橋 正子（医療：副支部長　会計）	池田 麻理（福祉：会計）	松葉 駿佑（第 7）◇
井上 公二（勤労者支援：副支部長）	服部 輝子（第 1 ）◇	島村 乃里子（医療：監事）
乙部 恵子（第 5 ：幹事長）◇	小倉 静江（第 3）◇	清水 愛子（学校健康教育：監事）
中山 靖子（学校健康教育）◇	吉沢 元子（第 4 ：会員管理）	

※ ◇：連盟レポート担当

新メンバーからひと言

井上公二
日本栄養士連盟 1 期 2 年職域幹事の経験を生かして頑張ります。

中山靖子
学校栄養士は児童生徒数に応じて、550 人未満の学校は 4 校に 1 人の配置数。全校配置を目指して頑張ります。

服部輝子
地域で活動しております。
今後の栄養士の地位向上の為に少しでも貢献できるよう努めてまいります。

小倉静江
栄養士の身分向上や活躍の場を広げるために、精一杯活動していきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

寺田直央
新役員を務めさせていただくことになりました。微力ながら栄養士の活動に貢献できるよう努めてまいります。

松葉駿佑
現在、病院勤務し、第 7 県民活動事業部に所属しております。微力ではございますが、精一杯努めてまいります。

今年度の会費納入、まだ間に合います！

連盟会費をまだお振込みでない方、数は力です！
ぜひ、納入をお願いいたします！

年会費：2,000 円
振込口座：ゆうちょ銀行　00260-2-116409
口座名義：日本栄養士連盟神奈川県支部

編集後記

今月号では、総会報告や新役員の紹介など、連盟の新たなスタートをお伝えしました。会員の皆さまとのつながりを大切に、活動を分かりやすく発信してまいります。

（編集委員一同）

日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第４０号　令和７年９月発行
発行者　支部長　中谷弥栄子
編集責任者　松本清江
編集委員　濱谷由美子　吉沢元子
岩橋和代　上池美勢子

寄　稿

法務大臣
衆議院議員　鈴木　馨祐



日本栄養士連盟神奈川県支部の先生方におかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。今年も大変暑い夏でしたが、先生方におかれましても、お健やかにお過ごしのことと存じます。

毎年夏の暑さが厳しくなっているのは体感だけではなく、実はデータとしても日本全体の７月の平均気温は２０２３年、２０２４年、２０２５年と３年連続観測史上最高を記録するなど、気候変動の影響が確実に深刻になっていることが窺えます。

専門家の間でもこうした気候変動の影響があちこちで指摘されていますが、その影響を最も大きく受ける分野の一つが「栄養」。気候変動の影響は、食料の生産・供給の大きなリスクです。またコロナ禍においても、途上国を中心に国境を超える食料流通のシステムが円滑に機能しない状況がみられ、食料の需要と供給のバランスが崩れる状況も散見されました。

こうした影響を最も受けるのは、子どもを含む弱い立場におかれた方々です。今後も感染症や安全保障上の有事の発生が懸念される中、こうした点に責任を持って取り組んでいくことも政治の大きなテーマです。2021年には、私が設立に携わり事務局長を務める国際食糧農業機関（FAO）議員連盟も協力し、こうした栄養に関するグローバルな変化に対応することを国際的に議論する場として、日本で「東京栄養サミット2021：nutrition for growth in Tokyo 2021」を開催しました。

また国内でも、近年、保育所・幼稚園あるいは学校等で食育が注目されているほか、医療や介護の現場での栄養ケアなどの取組を通じて、日常生活においても栄養士の皆様のご活躍を目にする機会が増えています。

世界においてもカロリーベースでなく栄養素ベースでの食料政策が新たな潮流となる中、一人ひとりにどのようにして適切に栄養を提供することが出来るか、まさに管理栄養士・栄養士の先生方の役割がとても重要な時代になっています。

栄養・食生活は、我々の生命を維持し、子どもたちが健やかに成長し、また人々が健康で幸福な生活を送るために欠かすことのできない営みです。さらに、生活習慣病の予防のほか、生活の質の向上や社会生活機能の維持・向上の観点からも非常に重要なものです。国民一人ひとりの健康増進のため、日々ご尽力いただいていることに、心から敬意を表しますとともに、社会環境の変化に伴い、先生方の果たす役割が益々重要となる中、皆様が管理栄養士・栄養士としてその専門性を十二分に発揮できるよう、私自身も国政の場において全力で取り組んでまいりますことをお誓いいたします。

最後になりますが、神奈川県支部の益々のご発展並びに、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

～令和７年度日本栄養士連盟神奈川県支部通常総会報告～

令和7年5月28日、神奈川県支部通常総会において、第1～3号議案が原案通り承認可決されました。

第１号議案　令和６年度活動報告（抜粋）

1.　概要

令和 6 年度の連盟活動は、栄養士会との情報共有と連携を図り、栄養士議員連盟加盟議員との情報交換を目的に事務所訪問や議員報告会等への参加を通して、管理栄養士・栄養士の要望を伝えた。

重点目標別活動と具体的内容

1.　組織強化のための会員増対策の推進

広報「連盟レポート」、入会案内、会費納入依頼等で、会員増に勤めた。その結果、会員数前年度比105%を達成した。

令和 5 年度より日本栄養士連盟「新会員管理システムへの移行」作業を行なっていたが、移行作業が完了し、令和６年度より新システムにて会員管理を行なっている。

2.　栄養士会の県民活動・職域事業部会との連携協力で要望書等連盟活動の強化

栄養士会と各事業部会との連携や情報の共有化を図り、連盟活動の理解と栄養関連の要望などの実現に向け活動を行い、要望事項の情報共有ができた。

3.　会員の連盟活動への関心や意識の啓発を図る

広報「連盟レポート」、ホームページ等の充実等で効果的な情報の提供や連盟活動の見える化で、会員の連盟活動への関心や意識の啓発を図った。

神奈川県栄養士会ホームページの関連団体リンク「日本栄養士連盟神奈川県支部」、日本栄養士連盟ホームページ「都道府県支部」に掲載し、連盟レポートの発行にあわせて年２回更新している。

4.　栄養士議員連盟加盟議員への連盟活動の充実強化

栄養士議員連盟加盟議員のセミナー、国会報告会等に参加し、管理栄養士・栄養士業務の情報共有を図った。

活動内容		月日等	場所
坂井学	言いだしっぺ「さかい学」を育てる会 2024 in 横浜	7 月 3 日(水)	横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズ
三原じゅん子	三原じゅん子さんを励ます会 in 神奈川	8 月 28 日(水)	ロイヤルホールヨコハマ
鈴木馨祐	鈴木馨祐衆議院議員を励ます横浜経済人の集い	8 月 29 日(木)	ロイヤルホールヨコハマ
田中和徳	神奈川自民党選挙区(10 区)定期大会	9 月 3 日(火)	川崎日航ホテル
牧島かれん	牧島かれん議員を励ます会	9 月 17 日(火)	小田原 umeko
牧島かれん	牧島かれんと語る女性の集い	10 月 14 日(月)	小田原タウンセンター
田中和徳	田中先生の新春の集い	1 月 15 日(月)	川崎日航ホテル
黒岩祐治	黒岩祐治君を励ます会	11 月 19 日(火)	ロイヤルホールヨコハマ

連盟レポート発行時期に合わせ地元議員事務所を訪問し、管理栄養士・栄養士の業務・活動への理解を図ると共に、情報共有を行なった。併せて要望書等支援の活動を行なった。

令和６年度衆議院議員選挙支援では加盟議員 11 名中 10 名が当選した。

【資料】

日本栄養士連盟加盟議員(神奈川県選出)　2025 年 1 月現在

衆議院議員　(　)内は選挙区				参議院議員
菅義偉(2 区)	中西健治(3 区)	坂井学(5 区)	鈴木馨祐(7 区)	浅尾慶一郎
田中和徳(10 区)	小泉進次郎(11 区)	赤間二郎(14 区)	河野太郎(15 区)	三原じゅん子
牧島かれん(17 区)	山際大志郎(18 区)			

日本栄養士連盟神奈川県支部賛助会員(2025 年 1 月現在)

日本栄養士連盟神奈川県支部を賛助会員としてご支援いただいています。

渡辺商事株式会社	文一堂印刷株式会社	神奈川中央ヤクルト販売株式会社
厚木ヤクルト販売株式会社	小田原ヤクルト販売株式会社	神奈川東部ヤクルト販売株式会社
湘南ヤクルト株式会社	個人会員 2 名	





第2号議案　令和7年度 活動計画

1.　活動方針

連盟の活動は、会員増と政治意識の啓発、組織力の強力化にあり、栄養士会と連携を密にして、管理栄養士・栄養士の配置促進及び処遇の改善を図る。

連盟支部規約第３条に「支部は(公社)神奈川県栄養士会の目的を達成するために必要な政治活動を行うことを目的とする。」とあり、栄養士会と連携を密にし、組織強化を行い、要望活動等に実現に向けて連盟活動を行う。

2.　重点目標

（1）組織強化のため会員増対策の推進
（2）栄養士会の県民・職域活動事業部会との連携協力で要望等連盟活動の強化
（3）会員の連盟活動への関心や意識の啓発を図る
（4）栄養士議員連盟加盟議員への連盟活動の充実強化

3.　具体的な活動(重点目標別)

（1）組織強化のため会員増対策の推進
①広報活動の充実、連盟レポート、入会案内等の充実
②(公社)神奈川県栄養士会と連携し、情報の共有を図り、県民の健康維持増進のための栄養施策の推進のための連盟活動
（2）栄養士会の県民・職域活動事業部会との連携協力で要望等連盟活動の強化
①幹事推薦母体である所属事業部会と連携し、管理栄養士・栄養士業務の環境整備等の要望事項実現のための連盟活動を行う
②管理栄養士配置基準の充実
③医療・介護・在宅ケアの連携
（3）会員の連盟活動への関心や意識の啓発を図る
①効果的な会員への情報提供
②連盟活動の見える化の促進
（4）栄養士議員連盟加盟議員への連盟活動の充実強化
①栄養士議員連盟加盟議員と要望等の情報共有と連携
②栄養士議員連盟加盟議員の選挙支援
③栄養士議員連盟加盟議員増のため栄養士業務の理解と協力を図る活動

甘利先生には大変お世話になりましたが、残念ながら議席獲得には至りませんでした。

７月の参議院選挙では、故島村大先生の後任で脇雅昭さんが自民党公認で出馬されました。応援させていただき当選されました。今後、栄養士議員連盟に加入していただくように働きかけてまいります。

山東先生　長い間ありがとうございました。



７月の参議院選挙において日本栄養士議員連盟会長の山東昭子先生は史上初の９回目の当選を目指されましたが、最終得票数 126,381 票、自民党の比例獲得議席 12 に対し 15 位に留まり、残念ながら議席獲得には至りませんでした。

皆様には多大なご支援を賜り、ありがとうございました。



ご挨拶では「やり残したことは日本人による日本人のための憲法を作ることだった」と悔しさをにじませ今後については今までの延長で仲間のバックアップをしていきたいと述べられました。

これからもお元気でご活躍をお祈りいたします。



編集後記

物価高が続くなか、生産者の方々の悲鳴が聞こえてくるようなこの夏の猛暑、干ばつ、打って変わって大雨。様々な工夫をされて市場に出していただいた作物に感謝しつつ、豊かな実りの秋を切望します。安くて、栄養満点な旬の食品がたくさん出回りますように。

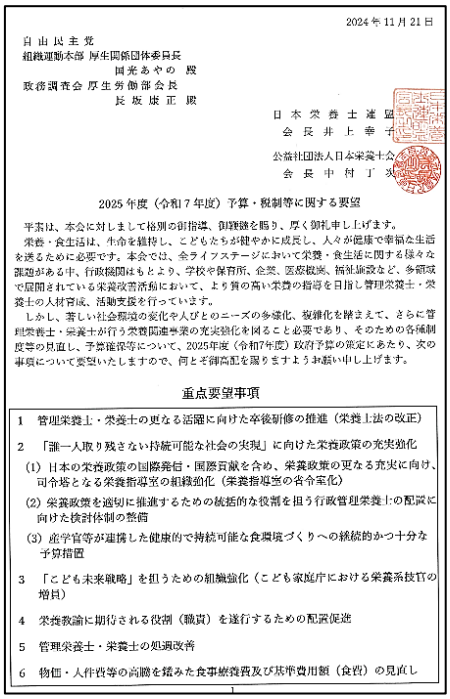
日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第３９号　令和７年１月発行
発行者　支部長　中谷弥栄子
編集責任者　松本清江
編集委員　濱谷由美子　吉沢元子
岩橋和代　上池美勢子

～２０２５年（令和７年）度に向けた予算・税制に関する要望を提出しました

自由民主党　組織運動本部 厚生関係団体委員長及び政務調査会 厚生労働部会長あてに、日本栄養士連盟会長と日本栄養士会会長の連名で要望書を提出しました。



2024年11月21日

自由民主党
組織運動本部 厚生関係団体委員長
国光あやの 殿
政務調査会 厚生労働部会長
長坂康正 殿

日本栄養士連盟
会長 井上幸子

公益社団法人日本栄養士会
会長 中村丁次

2025年度（令和7年度）予算・税制等に関する要望

平素は、本会に対しまして格別の御指導、御鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。
栄養・食生活は、生命を維持し、こどもたちが健やかに成長し、人々が健康で幸福な生活を送るために必要です。本会では、全ライフステージにおいて栄養・食生活に関する様々な課題がある中、行政機関はもとより、学校や保育所、企業、医療機関、福祉施設など、多領域で展開されている栄養改善活動において、より質の高い栄養の指導を目指し管理栄養士・栄養士の人材育成、活動支援を行っています。
しかし、著しい社会環境の変化や人びとのニーズの多様化、複雑化を踏まえて、さらに管理栄養士・栄養士が行う栄養関連事業の充実強化を図ること必要であり、そのための各種制度等の見直し、予算確保等について、2025年度（令和7年度）政府予算の策定にあたり、次の事項について要望いたしますので、何とぞ御高配を賜りますようお願い申し上げます。

重点要望事項

1　管理栄養士・栄養士の更なる活躍に向けた卒後研修の推進（栄養士法の改正）
2　「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」に向けた栄養政策の充実強化
(1) 日本の栄養政策の国際発信・国際貢献を含め、栄養政策の更なる充実に向け、司令塔となる栄養指導室の組織強化（栄養指導室の省令室化）
(2) 栄養政策を適切に推進するための統括的な役割を担う行政管理栄養士の配置に向けた検討体制の整備
(3) 産学官等が連携した健康的で持続可能な食環境づくりへの継続的かつ十分な予算措置
3　「こども未来戦略」を担うための組織強化（こども家庭庁における栄養系技官の増員）
4　栄養教諭に期待される役割（職責）を遂行するための配置促進
5　管理栄養士・栄養士の処遇改善
6　物価・人件費等の高騰を鑑みた食事療養費及び基準費用額（食費）の見直し

重 点 要 望 事 項

1　管理栄養士・栄養士の更なる活躍に向けた卒後研修の推進（栄養士法の改正）
2　「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」に向けた栄養政策の充実強化
（1）日本の栄養政策の国際発信・国際貢献を含め、栄養政策の更なる充実に向け、司令塔となる栄養指導室の組織強化（栄養指導室の省令室化）
（2）栄養政策を適切に推進するための統括的な役割を担う行政管理栄養士の配置に向けた検討体制の整備
（3）産学官等が連携した健康的で持続可能な食環境づくりへの継続的かつ十分な予算措置
3　「こども未来戦略」を担うための組織強化（こども家庭庁における栄養系技官の増員）
4　栄養教諭に期待される役割（職責）を遂行するための配置促進
5　管理栄養士・栄養士の処遇改善
6　物価・人件費等の高騰を鑑みた食事療養費及び基準費用額（食費）の見直し

◇◇2024 年度　日本栄養士連盟　第 49 回通常総会　報告◇◇

今年度の日本栄養士連盟の総会は、6 月 23 日に本県 横浜市のパシフィコ横浜会議センターで開催されました。

【主な議題】

1　2023 年度活動報告･活動評価及び収支決算書の承認の件
2　2024 年度活動計画案及び収支予算書案承認の件
3　2024･2025 年度役員の承認の件

【活動の重点目標】

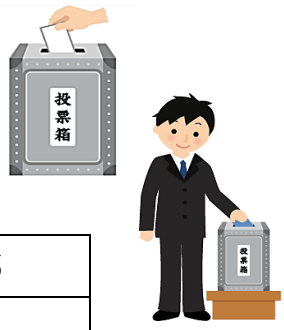
(1)会員への更なる政治意識の啓発
(2)陳情･要望活動の強化
(3)組織力の強化
(4)国政選挙における会員の擁立

栄養士連盟　基本方針

・連盟規約「本連盟は、公益社団法人日本栄養士会の目的を達成するために必要な政治活動を行うことを目的とする」に則り、日本栄養士会と連携を密にして政治的解決を要するものについて必要な活動を行う。
・連盟活動の基盤を盤石なものとするために、計画的な会員の拡充と更なる政治意識の啓発、組織活動の強化に努め、栄養士議員連盟加盟議員との連携を密にする。
・栄養士・管理栄養士制度、職務に理解のある衆・参両議院立候補者の推薦・支援活動を行う。

具体的な活動として、重点目標に合わせて、連盟本部･支部や日本栄養士会、栄養士議員連盟議員等との連携を強化し、要望事項の実現に向けて活動を行う。要望書の作成にあたっては、前年度回答を評価し次の要望書につなげる。組織力の強化のため会員増対策の実施。新会員管理システムを活用した会員管理。など、今年度の活動計画を承認しました。

第 50 回　衆議院議員選挙　報告



昨年 10 月 27 日に投開票が行われた衆議院議員選挙において、神奈川選挙区では 10 人の栄養士議員連盟の先生方が当選されました。

2 区	菅　義偉	11 区	小泉　進次郎
3 区	中西　健治	14 区	赤間　二郎
5 区	坂井　学	15 区	河野　太郎
7 区	鈴木　馨祐	17 区	牧島　かれん
10 区	田中　和徳	18 区	山際　大志郎

※　新たな区割りで20区にご出馬された甘利氏は残念ながら議席を失いました。

《第 2 次石破内閣　入閣議員及び党役員》

法務大臣	鈴木　馨祐　衆議院議員
環境大臣 内閣府特命担当大臣（原子力防災）	浅尾　慶一郎　参議院議員
国家公安委員会委員長 内閣府特命担当大臣（防災　海洋政策）	坂井　学　衆議院議員
内閣府特命担当大臣（こども政策　少子化対策 若者活躍　男女共同参画　共生・共助） 女性活躍担当 共生社会担当	三原じゅん子　参議院議員
自民党　副総裁	菅　義偉　衆議院議員
自民党　政治改革本部事務局長	小泉　進次郎　衆議院議員

神奈川県支部の活動

〇選挙公示前には、連盟加盟議員の事務所への要請訪問や政策セミナー等に参加しました。
〇今回の衆議院議員選挙では依頼のあった候補者に栄養士連盟として推薦状を発行しました。
〇連盟幹事は手分けをして、各候補の選挙事務所を激励訪問し、証書貼りなど選挙事務のお手伝いや出陣式、演説会への参加など応援活動を行いました。

政権与党には厳しい選挙となりましたが、栄養士議員連盟の先生方には私たちの要望実現に向けたご活躍を期待し、引き続き応援してまいります。

会員となって連盟活動をお支えください！

数は力です。一人でも多くの栄養士会会員の皆様の加入をお願いいたします。同封の振込用紙でお振込みをお願いします。

年 会 費：２，０００円
振込口座：ゆうちょ銀行　00260-2-116409
口座名義：日本栄養士連盟神奈川県支部





編集後記

地道な活動の積み重ねが大切な連盟活動ですが、タイパとコスパを無視していては時代に乗り遅れそうです。誠意と工夫を忘れずに、今年も活動を進めてまいります。（編集委員一同）

日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第３８号　令和６年９月発行
発行者　支部長　中谷弥栄子
編集責任者　松本清江
編集委員　濱谷由美子　吉沢元子
岩橋和代　上池美勢子

連盟会員の皆様

公益社団法人神奈川県栄養士会
会　長　西宮弘之



５月に行われた法人設立第 52 回 2024 年度公益社団法人神奈川県栄養士会定時総会で理事の改選により新執行体制になりました。

私西宮が引き続き会長職を拝命いたしました。新たな理事を迎え新執行体制で２年間会を盛り上げていく所存です。

以前私自身神奈川県栄養士連盟の財務を担当させていただき、栄養士会と栄養士連盟は両輪として進まなければならないことは理解していますが、栄養士会の会員が皆理解しているかというとそうでもない気がします。

連盟委員を拝命していた際に栄養士会としては歴史的な変化がありました。まさに管理栄養士が登録制から厚生労働大臣免許となったことです。これは栄養士議員連盟の国会議員と全国から集まった連盟会員で総決起集会を行い、議員立法でなしえたことで、連盟の力なくしてはなしえなかったことです。

過去の経緯を何も知らず国家資格の管理栄養士ですと仕事をしている会員にも連盟の大切さを伝えていかなければなりません。

また昨年の５月１日より管理栄養士・栄養士が医療職種となりました、ここにも連盟と栄養士会の長年の活動があってなしえたことです。次の目標は業務独占です。このためには連盟会員数の確保が重要です。私どもの栄養士会でも機会があるごとに連盟会員に入ってもらえるよう伝えていきたいと思います。

連盟に加入されている会員様には、友人や職場の仲間に声をかけ、一人でも会員になるよう勧めてください。





連盟に加入するということ

日本栄養士連盟神奈川県支部
支部長　中谷　弥栄子



今期、新たに連盟支部長を拝命いたしました中谷です。

私が社会人デビューした昭和 57 年は第二次臨時行政調査会が栄養士免許制度廃止を答申した年です。同法改悪阻止総決起中央大会が九段会館で開催され、栄養士連盟会員と調理師・栄養士議員連盟（当時）の国会議員が鉢巻、襷がけで抗議する姿を今でも鮮烈に覚えています。この活動がなければ、栄養士の資格は無くなっていたことでしょう。

栄養士を取り巻く環境は改善してはいるものの、未だ十分とはいえません。連盟の活性化が栄養士の処遇改善に繋がります。そのためには組織率向上が欠かせません。連盟加入の意義を認識いただき、会員が増えることを願ってやみません。

令和６年度 日本栄養士連盟神奈川県支部通常総会　報告

令和６年５月22日　神奈川県支部通常総会において、第1～3号議案が原案通り承認・可決されました。

令和６年度　活動計画

1．活動方針

連盟の活動は、会員増と政治意識の啓発、組織力の強化にあり、栄養士会と連携を密にして、管理栄養士・栄養士の配置促進及び処遇の改善を図る。

連盟支部規約第３条に「支部は（公社）神奈川県栄養士会の目的を達成するために必要な政治活動を行うことを目的とする。」とあり、栄養士会と連携を密にし、組織強化を行い、要望活動等の実現に向けて連盟活動を行う。

2．重点目標

（１）組織強化のため会員増対策の推進
（２）栄養士会の県民・職域活動事業部会との連携協力で要望等連盟活動の強化
（３）会員の連盟活動への関心や意識の啓発を図る
（４）栄養士議員連盟加盟議員への連盟活動の充実強化

3．具体的な活動（重点目標別）

（１）組織強化のため会員増対策の推進
①広報課活動の充実、連盟レポート、入会案内等の充実
②（公社）神奈川県栄養士会と連携し、情報の共有を図り、県民の健康維持増進のための栄養施策の推進のための連盟活動
（２）栄養士会の県民・職域活動事業部会との連携協力で要望等連盟活動の強化
①幹事推薦母体である所属事業部会と連携し、管理栄養士・栄養士業務の環境整備等の要望事項実現のための連盟活動を行う
②管理栄養士配置基準の充実
③医療・介護・在宅ケアの連係
（３）会員の連盟活動への関心や意識の啓発を図る
①効果的な会員への情報提供
②連盟活動の見える化の促進
（４）栄養士議員連盟加盟議員への連盟活動の充実強化
①栄養士議員連盟加盟議員との要望等の情報共有と連携
②栄養士議員連盟加盟議員の選挙支援
③栄養士議員連盟加盟議員増のため栄養士業務の理解と協力を図る活動

第２号議案　　令和6年度　収入支出予算

収入の部　　単位　円

科目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	摘　要
会費	520,000	622,000	参：令和5年度　正会員465名　賛助会員7社・2名
①正会員	500,000	600,000	1，000×500名
②賛助会員	20,000	22,000	2，000×10件
助成金	30,000	54,000	日栄連盟選挙対策助成金等
雑収入	100	100	預金利息等
前年度繰越金	44,823	398,521	
繰入金	0	0	定額預金支出
合計	594,923	1,074,621	

支出の部

科目	令和6年度予算額	令和5年度予算額	摘　要
活動費	280,000	400,000	
①渉外費	150,000	200,000	情報交換会・セミナー等参加費
②旅費	100,000	100,000	渉外活動に関する経費
③選挙対策費	30,000	100,000	選挙対策活動費・選挙対策準備金等
運営費	295,000	600,000	
①会議費	150,000	200,000	幹事会・旅費・総会・合同会議等
②印刷費	90,000	300,000	総会資料・連盟レポート・封筒・振込用紙等
③通信費	15,000	20,000	切手代・振込手数料等
④消耗品費	5,000	10,000	事務用品・事務機器消耗品・衛生用品等
⑤事務管理費	30,000	60,000	事務管理・会員管理等
⑥雑費	5,000	10,000	残高証明書・その他上記に該当しない支出
予備費	19,923	74,621	
合計	594,923	1,074,621	

令和６・７年度　連盟役員紹介

役職	所属職域	氏名	役職	所属職域	氏名
支部長	研究教育	中谷　弥栄子	幹事	第７	大田　圭要
副支部長	第３	濱谷　由美子	幹事	学校教育	松本　清江
副支部長	医療	高橋　正子	幹事	地域活動	上池　美勢子
幹事長	勤労	萩原　スミ子	幹事	福祉	池田　麻理
幹事	第１	里山　寿巳枝	監事	医療	島村　乃里子
幹事	第４	吉沢　元子	監事	学校教育	清水　愛子
幹事	第５	遠藤　奏子	相談役	第７	中丸　ちづ子
幹事	第６	岩橋　和代			



～新メンバーからひと言～

○遠藤 奏子さん　（第５事業部会）

やがて来る超高齢者社会の中で、食事管理の担い手として栄養ケアステーションの役割を各議員に PR して認識していただきます。

○大田　圭要さん　（第７事業部会）

栄養士・管理栄養士が今よりイキイキと働ける環境の構築のために、エビデンス構築とロビー活動に尽力して参ります。

今年度の会費納入、まだ間に合います！

連盟会費をまだお振込みでない方、下の振込先へぜひ、納入をお願いいたします。



年　会　費：2,000 円
振込口座：ゆうちょ銀行　00260-2-116409
口座名義：日本栄養士連盟神奈川県支部

編集後記



パリオリンピック・パラリンピックで大活躍のアスリートたちに声援を送り、大盛り上がりの夏でした。連盟の活動も着実に努力を積み重ねて花を咲かせ続けていきたいものです。（松本）

日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第３７号　令和６年１月発行
発行者　支部長　中丸ちづ子
編集責任者　松本清江
編集委員　濱谷由美子　乙部恵子
岩橋和代　中谷弥栄子
池田麻理　上池美勢子

寄　　稿

参議院議員　浅尾　慶一郎



明けましておめでとうございます。
甲辰（きのえたつ）の年となりました。甲辰の年はものごとが大きく伸びる縁起の良い年と言われております。前回の甲辰は前の東京オリンピックの年でした。映画「Always 三丁目の夕日」は東京オリンピックに向かう当時の「今日よりも明日が必ず良くなる」様子を描いており、特に第三編は昭和３９年の様子を良く描いています。

実は、今年、私は還暦を迎える年男です。自分が還暦の年だからではありませんが、ものごとが大きく伸びる今年は、必ず良い年にしていきたいと思います。また、高度成長期の社会の様に、明らかに成長を感じられる年にしていきたいです。

さて、平均年齢が低かった昔と異なり今は、人生１００年の時代で、１２０歳の大還暦も夢ではない時代になりました。日本人の平均年齢は非常に高く、世界有数の長寿国です。かつて、私は、世界の医療関係者、製薬関係者、医療機器製造関係者が集い米国の首都のワシントンで行われたメディカルテクノロジーリーダーシップフォーラムと言う会議で、以下の様に発言し、会場を一瞬静まり返した経験があります。「我が国の一人当たり医療費は米国の半分以下であるが、米国よりもはるかに平均寿命が長い。それだけ、日本の医療の効率が良い。」世界の医療の最先端の国である米国において、彼らのプライドを傷つける発言であったからです。

もちろん、これには理由があります。一つの理由は、国民皆保険制度のもと、公的医療に購買独占があるので、価格が皆保険でない米国より安く抑えられるということです。しかし、最大の理由は食生活です。我が国の医療技術が米国より進んでいるからではなく、食生活が大きく違うことが大きな理由です。肉、魚、野菜、穀物のバランスの良い我が国の食生活が日本の長寿に間違いなく貢献しています。学校給食、病院給食と様々な場面で、バランスの取れた美味しい食事を提供頂いている栄養士の皆さまはまさに長寿大国日本を支えて頂いている最大の功労者です。

これから、人生１００年時代を迎えるにあたり、皆さまの仕事の重要性はますます高まります。小学校や中学校での給食の頃からバランスの取れた食事を習慣と出来るか否かも、それから健康に過ごせるかに大きく影響します。また、病院でも栄養価の高いものを食べて頂き、早い回復につなげることが出来ます。是非、引き続き日本の長寿のために頑張って頂きたいと思います。





連盟活動から新たな扉を開こう!!　～職域事業部会からの声～

医療事業部会

２０２３年５月１日より厚生労働省、医療機能情報提供制度における医療従事者の人員配置報告職種に関して管理栄養士・栄養士が追加され医療従事者の職種として認められました。その後半年以上経過し、実際に医療施設勤務の管理栄養士・栄養士に向上はあったのでしょうか。一番多く聞こえてきた言葉としては「自分たちは医療施設に勤務してからは医療従事者として働いてきた。医療サポートチームの一員として他職種共同で栄養ケアプロセスを構築し、個人個人のその人らしい生を全うできるように支援してきた。他職種の方々からも医療従事者として認めてもらえていたため、今の段階では特に変化は無い」という意見が多かった様に思われます。

昨年２０２２年度の診療報酬改定では高度医療を提供している「特定機能病院」（神奈川県では北里大学病院・公立大学法人横浜市立大学付属病院・聖マリアンナ医科大学病院・東海大学医学部付属病院）では病棟専従管理栄養士として勤務した場合報酬が与えられるようになりましたが、一般的には管理栄養士の病棟配置は進んではいるものの、専従配置はまだ少ない状況だとの事でした。「医療従事者として、管理栄養士・栄養士を採用する側としては人員確保をしていく上で重要であると考えられ、管理栄養士・栄養士の地位が高められる可能性もある。また、仕事をしていく上でさらに活躍し、実力を発揮しながら実績を作っていくことが大切だと思う」との意見もありました。

素晴らしいドアーが開かれる事を願いつつ、今後に期待したいと思います。（高橋正子）

福祉事業部会

令和３年度の介護報酬改定では、自立支援・重度化予防の取り組みの推進として、栄養ケア・マネジメントの強化が図られました。利用者５０人に一人の管理栄養士の配置が必要な、栄養マネジメント強化加算は管理栄養士の職場、活躍を広げるものとしても期待されます。算定率は厚生労働省、令和４年の資料によると４割に達していないようですが、強化加算取得のために管理栄養士を増員した施設もあるようです。実際に強化加算を算定している施設では、「管理栄養士の人数が増え、よりきめ細やかに栄養サービスが提供できるようになった」との声も聞きました。

令和６年は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の同時改定があります。栄養士議員連盟の先生方のお力をお借りして、管理栄養士による栄養・食事管理が適正に評価され、さらに充実が図られるようお願いしていきます。

（池田麻理、乙部恵子）





令和６年度入会・継続のお申し込みを
よろしくお願いいたします。

神奈川県支部では

令和５年末、神奈川県では１２名の国会議員の方々が栄養士議員連盟に加入され、管理栄養士・栄養士を応援してくださっています。連盟支部では、この議員さん方を中心としたセミナーや国政報告会などに出席したり各議員事務所を訪問したりして、私たちの要望事項にご理解とご支援をいただいています。また、選挙時には応援の活動を行っています。

より多くの会員の皆様に連盟へ加入していただき、活動をさらに充実させていけますようよろしくお願いいたします。

《お悔み》

島村 大参議院議員におかれましては、昨年８月３０日にご逝去なさいました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

2 区	菅　義偉	14 区	赤間　二郎
3 区	中西　健治	15 区	河野　太郎
5 区	坂井　学	17 区	牧島　かれん
10 区	田中　和徳	18 区	山際　大志郎
11 区	小泉　進次郎	20 区	甘利　明
参議院	三原じゅん子	参議院	浅尾　慶一郎

編集後記‥

予測不能の事態が次から次に起きる昨今ではありますが、この一年も皆様と一緒に一歩ずつ歩みを進めていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。　　編集担当一同

日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第３６号　令和５年９月発行
発行者　支部長　中丸　ちづ子
編集責任者　松本清江
編集委員　濱谷由美子　乙部恵子
岩橋和代　中谷弥栄子
池田麻理　上池美勢子

寄　　稿

公益社団法人日本栄養士会
代表理事会長　中村　丁次

「栄養士会と栄養士連盟のさらなる連携を」



「東京栄養サミット 2021」でのコミットメントの発表と公式サブイベントの実施、横浜での「アジア栄養士会議」の開催、「子ども家庭庁」の管理栄養士の配置、医療法への医療職としての管理栄養士・栄養士の明記、管理栄養士の病棟配置、さらに栄養ケアステーションの拡大等、最近の栄養政策は目まぐるしい変化と著しい進化を遂げている。これは、日本栄養士会と日本栄養士連盟との連携が順調に進んでいる証しであり、連盟の皆様方には心から感謝している。

公益社団法人日本栄養士会の活動は、特定な団体や企業と特別な関係になることは許されず、常に公平で、公益に繋がる活動を進めなければならない。しかし、公益事業を進めるには、法律や制度を作成し、改正することが必要になる場合があり、具体的に進めるには国会議員の先生方の理解と協力が不可欠になる。正義や公益性を掲げ、掛け声を上げるだけならだれでもできるが、私達は、確実に実行し、成果を上げなければ、真の公益は生み出されない。批判や不満、さらに希望や夢だけを繰り返すだけなら、日本栄養士会はもちろんのこと、日本栄養士連盟も、さらに管理栄養士、栄養士そのものも、社会的評価は低下し、存在価値そのものも問われることになる。

ところで、歴史的に見ると日本の栄養改善はサクセスストーリー、つまり成功例である。その原因は、栄養学の研究を発展させると同時に、栄養改善の実践的リーダーである管理栄養士、栄養士を確実に養成し、法律と制度の下に学校、病院、福祉施設、企業等の集団給食施設に配置したことにある。このことにより、管理栄養士、栄養士が献立の栄養管理と栄養教育を担当し、国民はどこで食事をしても、健康な食事と栄養にアクセスできる社会が構築できたのであり、その結果、栄養バランスの取れた食事が形成され、長寿国家の建設に貢献できた。

一般に、国際的な栄養政策として、経済や食糧の支援等が議論される。これらは緊急的な方法として有効であるが、多くの国々が海外からの支援に依存しているので、支援が終了すると事業は中断される。日本のように、誰も取り残すことなく、持続可能な栄養改善へと発展させるには、管理栄養士・栄養士の制度が重要である。実は、アジアの多く国々には、大学や研究所に栄養学者と地域に栄養改善のボランティアは存在するが栄養士制度がなく、欧米先進国には、病院に勤務する臨床登録栄養士が存在するが、公衆衛生領域の現場には栄養の専門職はいない。

これらを解決するために、“Japan Nutrition”を世界のモデルとして発信すべきだと考えている。今後、神奈川県栄養士連盟と日本栄養士会との連携をさらに密にして、人々の健康と幸せに貢献できることを願っている。



栄養士連盟の活動 ～ 栄養士会と歩み明るい未来へ～

日本栄養士連盟神奈川県支部　支部長 中丸ちづ子



令和5年度日本栄養士連盟神奈川県支部通常総会は、令和元年以来4年ぶりの集合開催となりました。（令和2年～4年はコロナ禍のため書面総会）

総会議案もご承認いただきましたことをご報告いたします、ありがとうございました。

さて、連盟の活動を皆様にお伝えし、いかに大切な役割を担っているかご理解をいただきたく、3 つにまとめました。

○栄養士連盟活動の役割

栄養士連盟と栄養士会は役割を分担し、管理栄養士・栄養士に関する要望等について情報共有と連携を大切にしています。栄養士会は政府に対し政策提言活動を行っています。連盟は栄養士会と連携して政治活動を行い、議員連盟の先生方のご支援で要望の実現に向けて活動しています。

これまでの取組
- ・議員立法で栄養改善法公布（S27 年7月）
- ・管理栄養士制度成立　栄養士法一部改正（S38 年4月）
- ・管理栄養士資格取得は国家試験合格者に限定　栄養士法一部改正（S62 年4月）
- ・管理栄養士の資格が「登録制」から「免許制」に　栄養士法一部改正（H14 年4月）
- ・管理栄養士が医師、保健師とともに特定検診・特定保健指導の担い手に（H20年4月）
- ・介護報酬改正、診療報酬改正（R2 年～）　などの連盟活動を行ってきました。

日本栄養士連盟ホームページ 「栄養士制度発展のあゆみと連盟活動」で、栄養士会から社会的な役割を分け、目標に向かい共に活動してきた成果の歴史がたどれます。組織は違っても、管理栄養士・栄養士が会員であり専門職としての社会的な活動を支えるための環境づくりが重要です。

最新情報
- ・**管理栄養士・栄養士が 医療従事者になりました！** 【厚生労働省】医療機能情報提供制度における医療従事者の人員配置の報告職種に管理栄養士・栄養士を追加　本改正は、2025 年 5 月1日（月）より適用。
- ・**学校における食育の更なる改善・充実に向けて（提言）** 松野官房長官及び文部科学省、農林水産省に骨太の方針への提言　栄養士議員連盟、栄養教諭議員連盟から共同で提出。（R5年6月15日）
- ・**「栄養教諭を中核とした食育を推進する」と2023骨太方針に明記**（R5年6月16日閣議決定）

○栄養士議員連盟

栄養士議員連盟加盟議員の先生は 2023 年 5 月現在 衆議院 161 名、参議院 75 名で合計 236 名。神奈川県支部では、衆議院 10 名、参議院 3 名の 13 名です。参議院議員山東昭子会長をはじめ加盟議員の先生には、要望事項の実現に向けてご支援を頂いています。

神奈川県支部では、幹事が事務所訪問、国政報告会・セミナーなどに参加し、管理栄養士・栄養士の現状をお伝えし、ご理解ご支援いただいています。



日本栄養士連盟、日本栄養士会、神奈川県栄養士会のホームページ（神奈川県支部リンク）で最新情報の詳細や活動状況をご覧ください。

○管理栄養士・栄養士の処遇改善を目指す活動を連盟会員が支えている。

連盟の役割（主に政治活動　要望）、栄養士会の役割（主に政策活動　要望、提言）を踏まえ、要望事項の実現に向けて成果が見えるように連携しています。要望書は連名で提出しています。

栄養士会の会員は栄養士連盟の会員でもあり、管理栄養士・栄養士一人ひとりが未来に希望の持てる働きやすい環境を整えることで、県民の栄養改善、健康の維持増進、健康寿命延伸、食育推進と子どもから高齢者まで「栄養と健康なくらし」をお届けすることができます。

連盟会員になり、いま出来ることでご一緒に活動を支え、栄養政策の未来に向けて、さらに管理栄養士・栄養士の顔の見える活動をしていきませんか。たくさんの加入をお待ちしています。

連盟年会費　2，000 円
名義：日本栄養士連盟神奈川県支部
振込先：ゆうちょ銀行　00260-2-116409

日本栄養士連盟神奈川県支部

令和5年度 活動計画

1. 事業活動方針

連盟の活動は、会員増と政治意識の啓発、組織力の強化にあり、栄養士会と連携を密にして、管理栄養士・栄養士の配置促進及び処遇の改善を図る。

連盟支部規約第3条に「支部は（公社）神奈川県栄養士会の目的を達成するために必要な政治活動を行うことを目的とする。」とあり、栄養士会と連携を密にし、組織強化を行い、要望活動等の実現に向けて連盟活動を行う。

2. 重点目標

（1） 組織強化のため会員増対策の推進

（2） 栄養士会の職域・県民活動事業部会との連携協力で要望等連盟活動の強化

（3） 会員の連盟活動への関心や意識の啓発を図る

（4） 栄養士議員連盟加盟議員への連盟活動の充実強化

3. 具体的な活動（重点目標別）

（1）組織強化のため会員増対策の推進

① 広報活動の充実、連盟レポート、入会案内等の充実

② （公社）神奈川県栄養士会と連携し情報の共有を図り、県民の健康維持増進のための栄養施策の推進のための連盟活動

（2）栄養士会の職域・県民活動事業部会との連携協力で要望等連盟活動の強化

① 幹事推薦母体である所属事業部会と連携し、管理栄養士・栄養士業務の環境整備等の要望事項実現のための連盟活動を行う

② 管理栄養士配置基準の充実

③ 医療・介護・在宅ケアの連携

（3）会員の連盟活動への関心や意識の啓発を図る

① 効果的な会員への情報提供

② 連盟活動の見える化の促進

（4）栄養士議員連盟加盟議員への連盟活動の充実強化

① 栄養士議員連盟加盟議員と要望等の情報共有と連携

② 栄養士議員連盟加盟議員の選挙支援

③ 栄養士議員連盟加盟議員増のため栄養士業務の理解と協力を図る活動

日本栄養士連盟神奈川県支部　令和４年度 活動計画

１．事業活動方針

連盟の活動基盤は、会員増と政治意識の啓発、組織力の強化にあり、神奈川県栄養士会と連携を密にして、管理栄養士・栄養士の配置促進及び処遇の改善を図る。

連盟支部規約第３条に「支部は（公社）神奈川県栄養士会の目的を達成するために必要な政治活動を行うことを目的とする。」とあり、栄養士会と連携を密にし、組織強化を行い、要望活動等の実現に向けて連盟活動を行う。

２．重点目標

① 組織強化のため会員増対策の推進
② 職域・県民活動事業部会との連携協力においての要望等連盟活動の強化
③ 栄養士制度の改革等を図るための会員の連盟活動に対する関心や意識の啓発を図る

３．具体的な活動　（重点項目別）

① 組織強化のため会員増対策の推進
(公社)神奈川県栄養士会との連携し情報の共有を図り、要望事項等の充実
・県民の健康維持増進のための栄養施策の推進のための連盟活動
・管理栄養士配置基準の充実
・栄養士会会員への啓発活動として、広報活動の充実、会員増対策としての入会案内、連盟レポートの充実

② 職域・県民活動事業部会との連携協力においての要望等連盟活動の強化
幹事推薦母体である所属事業部会との連携し、管理栄養士・栄養士業務の環境整備等の要望事項実現のための連盟活動を行う

③ 栄養士議員連盟加盟議員への連盟活動の充実強化
・栄養士議員連盟加盟議員と要望等の情報共有と連携
・栄養士議員連盟加盟議員の選挙支援
・栄養士議員連盟加盟議員増のため栄養士業務の理解と協力を図る活動

日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第 35 号　令和 5 年 1 月発行
発行者　支部長　中丸　ちづ子
編集責任者　松本清江
編集委員　濱谷由美子　乙部恵子
岩橋和代　中谷弥栄子
池田麻理　上池美勢子

寄　　稿

前デジタル大臣
衆議院議員　　牧島　かれん



2023 年を迎え、皆様にとって穏やかな幕開けであることを願っております。栄養士連盟の先生方はいつもほがらかで、お会いすると元気をいただいております。

ここ数年、とりわけ子どもたちを取り巻く環境では厳しい状況もあり、栄養士連盟の先生方にとっても大きなご心配事であろうかと存じます。コロナ禍において、食事の質や、どのような環境で食事をするのかということも非常に重要であることが再認識されました。休校の時期に給食がなくなったことで、しっかりとした栄養をとることができない子どもたちの存在については、先生方からいち早くお声を挙げていただきました。黙食が当たり前になってしまった教室でしたが、ルールを見直しているところです。少しずつ楽しいお昼の風景が戻ってくることを願い、政治としても、日常をアップデートし、かけがえのない時間を過ごせるよう引き続き動いてまいります。

私の地元は県西地域で、自然に囲まれた丹沢の恩恵を受けています。一方で鳥獣被害も深刻で、農家の皆さんからの悲鳴を伺い、里地里山も守るために、少しでも役に立てればとの思いで、狩猟（わな猟）の資格も取りました。先輩に教わりながら、今ではイノシシやシカなどを解体することもできるようになりました。命を最後までいただくべく、ジビエを広めることにも一生懸命取り組んでいます。子どもたちにも、ジビエを気軽に体験できる場があればとも思っていますので、ぜひ先生方にもご協力いただけると嬉しいです。

なお、わな師であることは有名になったのですが（“永田町のハイジ”というあだ名もつけられました。さすがにハイジは狩猟しませんが、野山を駆け回っている様子が、ハイジを彷彿とさせるようです…）「肉肉しいな…」とも感じ、野菜ソムリエの資格も取りました。先生方にはもちろん及びませんが、栄養バランスや食事について自分なりに知識を深めていきたいと思っています。

最後に、私は 2022 年 8 月まで、第 2 代デジタル大臣を務めさせていただきました。当時の最年少での入閣となり、本当にお支えいただいている方々の存在があってこそ、と感謝しております。デジタルに苦手意識がある方々も少なくないと思いますが、常に掲げていたのは「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル社会」というミッションでした。デジタル化は目的ではなく、技術を活用して、私たちに便利でフェアな社会にしていくことがゴールなのです。先生方のお仕事でも、デジタルを活用する場面も増えているかと思いますが、それらが、私たち人間一人ひとりの健康につながり、幸せな生活に寄与するよう、引き続き力を尽くしてまいります。変わらぬご指導をお願い申し上げます。



≪ 2023 年度（令和５年度）予算・税制等に関する要望書を提出 ≫

日本栄養士連盟と(公社)日本栄養士会は、2022 年 10 月 27 日に政権与党である自由民主党に次年度政府予算の策定にあたり、次の事項について要望いたしました。

重点要望事項

1 東京栄養サミット 2021 での日本政府コミットメントの実現に向けた栄養政策の充実強化
(1)東京栄養サミット 2021 の成果を踏まえ、今後の栄養改善の取組を一層加速化するための組織強化
(2)産業の振興にも資する産学官等が連携した健康で持続可能な食環境づくりへの継続的な予算措置
(3)次期国民健康づくり運動プランを推進するため、行政栄養士の推進体制の強化

2 こども家庭庁と関係省庁との連携体制強化のために、こども家庭庁に栄養系技官の複数配置

3 令和6年の診察報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定への支援

4 第8次医療計画における在宅医療及び医療・介護連携の体制整備の推進

5 学校における食に関する指導、家庭や地域における食育推進の充実のために、学校給食実施校に栄養教諭を配置

連盟の活動にご理解とご協力を!!

※神奈川県支部では県内選出の栄養士議員連盟加盟議員に対し、私たちの要望事項をご理解いただき応援してくださるよう働きかける活動をしています。

自民党神奈川第 10 選挙区支部定期大会 10月 24 日

川崎日航ホテルにて、田中和徳先生が支部長を務められる第 10 選挙区支部定期大会が開催されました。川崎市福田紀彦市長の特別講演でしたので、濱谷の他に第 3 県民活動事業部会北村部会長、三津間副会長の 3 人で参加し「川崎市政の今後について」を一番前の席で聞いてきました。

元参議院議員の斉藤文夫先生や島村大先生、浅尾慶一郎先生、三原じゅん子先生の秘書に挨拶をしました。県会議員、市会議員は大勢来ておられました。（副支部長 濱谷由美子）

衆議院議員 中西けんじ君を励ます会 11月24日

ロイヤルホールヨコハマにて、麻生太郎自由民主党副総裁や、小泉進次郎神奈川県支部連合会会長などたくさんの来賓、参加者を迎えて盛大に開催されました。

中西議員は党の財務金融部会長に就任されています。世界がコロナから抜け出して活動し始めた時に、ロシアがウクライナを侵略しエネルギーや食料品の価格が飛び上がった。そこに円安が追い打ちをかけているが、これを好機と捉え日本企業の国内回帰がおこっている。優秀な日本製品・食品を海外へセールスして、活力あふれる国にしていきたいとのお話がありました。（幹事 上池美勢子）

衆議院議員菅義偉先生の経済人忘年会 12 月 12 日

ロイヤルホールヨコハマ ベルサイユにて開催され濱谷と萩原が参加しました。参議院議員の三原じゅん子先生が来られ、7月の参議院選挙当選のお礼挨拶をされました。

県会議員、市会議員（菅先生の選挙区、西区、南区、港南区）が大勢お見えで、来年の統一地方選挙が4月9日投票日と決まったので、一人ずつ紹介され、お願いの挨拶をされました。菅先生からもお願いの挨拶がありました。菅先生、三原先生、県市会議員の皆さんに二人で、しっかり挨拶をしてきました。

（副支部長 濱谷由美子）

浅尾慶一郎参議院議員が議連に入会

7 月の参議院選挙で当選された浅尾慶一郎議員が栄養士議員連盟に入会されました。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記・・



食品の値上がり続きで、食に関わる私たちには頭の痛い状況が続きます。当たり前だと思っていた食環境がこんなにも脆い土台の上にあるとは。改めて危機管理の重要性を考えます。（松本清江）

日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第 34 号　令和 4 年 9 月発行
発行者　支部長　中丸　ちづ子
編集責任者　松本清江
編集委員　濱谷由美子　乙部恵子
岩橋和代　中谷弥栄子
池田麻理　上池美勢子

寄　　稿

衆議院議員
自民党神奈川県連会長　小泉 進次郎



今年の夏は「酷暑」という言葉以上の暑い日を記録していますが、日本栄養士連盟神奈川県支部の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。このたびは2400名という多くの方にご挨拶の機会をいただき、ありがとうございます。

図らずも、このご挨拶をしたためているのは8月4日の「栄養の日」です。先般、日本栄養士会の中村丁次先生と「栄養と環境」というテーマで対談させていただきました。すでに広報誌や動画をご覧いただいているかもしれません。まだの方はぜひご覧ください。

その対談の中でもお話ししましたが、栄養士連盟の皆さまには「食と環境」の問題を考え、取り組んでいただけることを期待しています。

日本はエネルギーや食などの海外依存度が高い国です。特に今は緊迫化する国際情勢を背景に、原油や天然ガスの価格が高止まりを続け、小麦をはじめ食料品などの価格も高騰しています。こういう状況だからこそ、食もエネルギーも地産地消の徹底を推進すべきだと考えています。地域の旬の食材を選択することは健康にも良く、エネルギーロスも防ぎ、気候変動対策にもつながります。食のプロフェッショナルである皆さまからも是非「地産地消」をはじめとする、食と環境を一体で考える取り組みを進めていただけるとうれしいです。

昨年、栄養士連盟の皆さまからも「あれは良かった」と言っていただけたのは、横須賀市立中学校での完全給食の開始でした。栄養バランスが良くて温かい完全給食の実施は、保護者の方の長年の悲願でもありました。ご存知のように、横須賀市は陸海空の自衛隊に加え、米海軍の基地もある街です。当時の防衛大臣に、新設する給食センターがいかに横須賀市に必要かを訴え、基地助成金の対象に「子育て支援施設」を加えてもらい、全国で初めての適用例になりました。その結果、建築費のうち約6割が補助金で賄われました。

昨今のコロナ禍もあって、まだ生徒の皆さんと一緒に給食を食べることができていないのが残念ですが、多くの方から「給食が始まって良かった」と言っていただけるのは、地元選出の国会議員冥利に尽きます。

このご挨拶が皆さまのお手元に届く 9 月ごろは、涼しい風が吹いているでしょうか。くれぐれもご自愛いただき、今後も食のプロフェッショナルとしてご活躍されることを祈念申し上げます。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

（日本栄養士会の中村丁次会長との対談内容は、こちらからご覧ください）
https://www.dietitian.or.jp/features/dietetic-congress/2022/20220629.html



令和４・５年度 連盟幹事メンバーです



今期、連盟幹事として活動していただく皆様の自己紹介です。どうぞよろしくお願いいたします。

支部長　中丸ちづ子　（第７県民活動事業部会推薦）

今年度の通常総会も書面総会となり、会員の皆様との距離がなかなか縮まりません。連盟活動の目的は幹事と協力し、栄養士会の要望事項を実現するために連盟活動を推進する。これには組織強化（会員増）が重要です、管理栄養士・栄養士を取り巻く環境整備のためにも、より多くの栄養士会会員が連盟会員になって頂くことが、支部長としての役割と目標です。

濱谷　由美子さん（第３県民活動事業部会推薦）

副支部長・広報全体を担当します。コロナ禍で、イベントはできず、栄養士として地域住民と接することもなく、職域を超えて一緒に活動することは殆どありません。一人職場も多く、課題や問題点が見え難くなっています。社会から理解され、より良い仕事にしていく為に一人で悩まず、近くにいる先輩、役員、連盟幹事に伝えてください。みんなで改善していきましょう！

萩原　スミ子さん　（勤労者支援事業部会推薦）

幹事長・会計を担当します。幹事２期目になり演説会、セミナーと候補者の声をじかに聞き、熱い思いが伝わりました。退職後は地域の高齢者の訪問と、地域食堂で月１度の食事作り、庭に畑を作り野菜栽培、果樹でデザートを作り地域に密着した活動をしています。初めての幹事長頑張ります。

吉沢　元子さん　（第４県民活動事業部会推薦）

会員管理を担当します。“千里の道も一歩から”…と題したノートを作り、問題集を解いて苦手な科目克服へと励んだ若き頃からの座右の銘です。連盟においてもこの精神をもって、課題に取り組み、改善の道へと実現できるよう、皆様と共に歩んでいきたいと思います。

岩橋　和代さん（第６県民活動事業部会推薦）

広報、連盟レポートを担当します。町役場健康づくり課に勤務しております。今年度より、コロナで２年間休んでいた料理教室が再開できるようになりました。私はそそっかしいので「過ちは、易き所になりて必ずつかまることに候ふ」を心に念じ、ミスを犯さぬよう頑張りたいと思います。

池田　麻理さん（福祉事業部会推薦）

広報、連盟レポートを担当します。「人間は考える葦である」中学の校長先生に教えていただいた言葉です。コロナ感染の対策や法律改正の対応など、考えることは山積みです。変化の激しい予測不能の毎日ですが、私達の考える力で、栄養士の力が発揮できる世の中にしたいと思います。

監事のお二人です。
島村　乃里子さん　（医療事業部会推薦）
清水　愛子さん（学校健康教育事業部会推薦）

髙橋　正子さん（医療事業部会推薦）

副支部長・会計を担当します。「出来ることはすぐにやる」を肝に銘じています。以前、後回しにしていた用件で失敗し深く反省しました。それ以降私のモットーになりました。自分の性格は「のんびり」していると思っているのですが、「せっかち」だと言われた事もあるので、言われない程度に今後も守っていきたいと思います。

里山　寿巳枝さん（第１県民活動事業部会推薦）

会員管理を担当します。コロナ禍で計画をしていたことが全て頓挫してしまい、今まで予想もしない生活が待っていました。今後は不測の事態が起こりうることを常に意識して、やりたいことは後回しにしないで「思い立ったが吉日とやりたいことはすぐ実行する」。やりたかった仕事もして、美味しい料理を制覇しようと思う日々です。

乙部　恵子さん　（第５県民活動事業部会推薦）

広報、連盟レポートを担当します。毎日職場で会う人達との関わりも、新しい出会いを得た方々との縁もすべて大切にしたい。“一期一会”の言葉を胸に刻んで毎日を送っています。様々な関わりと出会いを糧に少しずつでも成長して行かれたら嬉しいです。

中谷　弥栄子さん（研究教育事業部会推薦）

広報、連盟レポートを担当します。これまで何事も「自然体」で取り組むことを大切にしてきました。連盟活動は、私たち管理栄養士・栄養士がより高いステータスを獲得する上で必要不可欠なものです。連盟としてなすべきことを精査し、「自然体」で取り組んでいきたいと思います。

上池　美勢子さん　（地域活動事業部会推薦）

広報、連盟レポートを担当します。庭仕事をやりすぎて膝が痛く、なかなか治りません。地域の子育て支援部の手伝いを始めました。未来ある子供たちのために、SDGs の取り組みや、日本の食料自給率 37%台の改善について関心を持ち、自身でできる事をしています。

編集後記・・

「一度決めたらぶれずに前進」をモットーに連盟レポートの編集を担当します。
松本　清江（学校健康教育事業部会推薦）

日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第 33 号　令和 4 年 1 月発行

発行者　支部長　中丸　ちづ子
編集責任者　藤原　みえ子
編集委員　濱谷由美子　松本清江
吉沢元子　岩橋和代　池田麻理

寄　　稿

衆議院議員　　中西　健治



謹んで新春のお慶びを申し上げます。日本栄養士連盟神奈川県支部の皆様におかれましては、佳き初春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

仕事柄、背広でお目にかかることが多いですが、週末にはトライスーツなどと呼ばれる上下一体のウェアを着てトライアスロンの選手として大会に参加しています。鉄人レースとも呼ばれる通り水泳（スイム）、自転車ロードレース（バイク）、長距離走（ラン）を連続して行ないますから持久力が勝負となる競技です。

そのため泳いだり走ったり自転車を漕いだりという競技そのもののトレーニングは当然ですが、それ以上に長時間のレースに耐えられるような体作りをすることが重要になります。したがって日頃からバランスの良い食事をとることに気を配っています。

日本で「バランスの良い食事を」と言われて「え！それって何？」という人は多くありません。学校給食のメニューを見れば一目瞭然でしたし、さらに栄養士さんに色々と教えていただいているので「主食・主菜・副菜」「タンパク質と炭水化物、脂質、それに食物繊維を」などとすぐイメージ出来ます。

ところが私が 20 年以上勤めた JP モルガンにいたアメリカ人は「カフェテリアでハンバーガーとかペパロニ・ピザ、フライドポテトなんかを勝手に選ぶ。バランス？チーズ入りのスクランブル・エッグとワッフルもちゃんと食べてたから大丈夫」という世界でした。バランスどころか肥満大国まっしぐらです。

そんな日本ですが、心配なこともあります。朝食を食べない人の割合が年々増え、特に 20～30 代の約 30%は朝食を食べていないとの調査結果が出ました。活力ある日本を支える人たちがこれでは困ります。

また「超高齢社会」特有の問題も気がかりです。高齢になるとあっさりした味付けの淡白な食材を好むなど嗜好が変わることがあります。また、一人暮らしの場合や、家族と同居してはいても日中一人で過ごす時は、どうしても手軽に食べられる麺類やお茶漬けなどで済ませてしまいがちです。さらには食べやすい食品と食べにくい食品がありますから、栄養バランスが偏り低栄養となる可能性が高くなっているのではと懸念しています。

トライアスロンに耐える体になれたのは、栄養士の皆さんのおかげだと思っています。歳をとっても健康で心穏やかに生きがいをもって楽しく生活できる、そういう人たちが沢山いる社会を実現するために、食のプロフェッショナルとして一層ご活躍されることを期待しております。



栄養士制度発展のあゆみと連盟活動から

今回の連盟レポートは、32 号に続いて栄養士会と栄養士連盟が共にたどった歴史の一コマから、２年に一度行われる診療報酬改定と関連事項を取り上げました。法の改正によって現場はどう変化していったのかレポートしていただきました。



診療報酬改定による病院の変化

数十年前、私が病院に就職した頃は、管理栄養士・栄養士の仕事は献立作成、食事（食札）変更、在庫管理、特別食など、給食管理が主でした。ある大学教授の言葉をお借りすると、「長靴を履いた白いウサギ」耳をそばたて白い長靴を履いて厨房をピョンピョン跳ね回っているという状況でした。しかし、診療報酬改定により栄養管理加算、NST（栄養サポートチーム）加算により給食管理から栄養管理へと職務内容が変化しました。これは 2000 年～2002 年の栄養士法改正により管理栄養士が登録制から免許制になり管理栄養士は「栄養管理」をする人と明確化（※）された事によります。　現在では細部にわたり加算が取れるようになり、例えば退院時共同指導料、回復期リハ病棟入院料、外来化学療法栄養管理評価、ICU による早期栄養介入加算、緩和ケアなど、管理栄養士がチームメンバーに加わる必要があり、又、病棟専任の管理栄養士が一般的になっています。それらから、病院勤務管理栄養士は 2 倍、3 倍に増員され、地位向上にも繋がっていると思われます。

栄養士議員連盟の先生方の力を借りながら、更なる管理栄養士・栄養士の地位向上、勤務態勢向上、賃金増等のため、積極的に働きかけをしていきます。　（医療事業部会幹事　高橋正子）

2000 年(平成 12 年)（※）

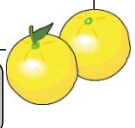
栄養士議員連盟のご支援により管理栄養士は登録から免許制度にかわる。（議員立法）

2016 年(平成 28 年)診療報酬の改定

栄養食事指導料初回 260 点に倍増、2 回目以降 200 点、指導の対象にがん、接触・嚥下機能低下、低栄養が加わり、在宅患者訪問栄養食事指導料算定要件から調理が削除された。

（日本栄養士連盟ホームページから抜粋）

会員数増加がもたらすもの



栄養士会や関係諸団体と連携した要望活動で成立した 2016 年の診療報酬改定は、栄養食事指導に対する評価が大きく見直され、同時に、雇用増加にも繋がっていきました。

では、その後の連盟の会員数は倍増したかというと、現在、神奈川県栄養士会会員約 2,500 名に対し連盟会員は 500 余名と少ないのが現状です。職務内容等が法で守られる重要性は伝わってきたのでしょうか？このままでは、仕事に対する評価は高まっても見合った賃金には至らず、というジレンマに陥らないか危惧されます。会員数は要望を実現する活動の大きな力となります。今、会員となっている人がもう一人声をかければ 1,000 人になります。皆様の一声で更なる力が生まれますように！　（藤原）

神奈川県内の栄養士議員連盟加盟議員

【衆議院議員】

2 区	菅　義偉	11 区	小泉進次郎
3 区	中西　健治	13 区	甘利　明
5 区	坂井　学	14 区	あかま二郎
10 区	田中　和徳	15 区	河野　太郎

【参議院議員】

島村　大
三原　じゅん子

新しく栄養士議員連盟に加盟されました！！

牧島かれん議員（17 区）デジタル大臣

山際大志郎議員（18 区）経済再生担当大臣

上記 12 名の国会議員の方々が、管理栄養士・栄養士を応援してくださることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

【編集後記】

法律や制度を変えるのは簡単ではありません。新しく議連に加盟された先生方のお力も借りて、粘り強く活動を続けてまいりましょう。（連盟幹事一同）

日本栄養士連盟神奈川県支部

連盟レポート

第 32 号　令和 3 年 9 月発行

発行者　支部長　中丸　ちづ子
編集責任者　藤原　みえ子
編集委員　濱谷由美子　松本清江
吉沢元子　岩橋和代　池田麻理

寄　稿

参議院議員
厚生労働副大臣　三原じゅん子

神奈川県選出の参議院議員、三原じゅん子でございます。



日本栄養士連盟神奈川県支部の皆様におかれましては、平素よりご理解ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。いのちと暮らしを守る現場でご尽力頂いている皆様、ご家族・地域社会を支えて下さっている皆様に、心より御礼を申し上げます。 昨年の菅義偉内閣発足に伴いまして、厚生労働副大臣を拝命いたしました。皆様方のご支援の賜物と心より御礼を申し上げます。がん対策やがん患者の皆様への支援、不妊治療の支援拡充、女性特有の疾患への健診や相談体制の確立、介護休業と男性の育児休暇を含めた働き方改革、児童虐待防止、年金改革の実現に向けて、精励恪勤しているところでございます。

コロナ禍の地域社会におきましては、管理栄養士・栄養士の皆様のお力がますます重要になってきております。 コロナ禍における外出自粛のため、運動不足による肥満、コミュニケーション不足による孤立が地域における課題となりつつあります。訪問相談に向けてのご心配などをお伺いすることもございますが、如何なる疾病に対しましても、免疫機能の維持には多くの栄養素が関与しており、栄養と食事のプロフェッショナルでいらっしゃいます管理栄養士・栄養士の皆様の役割は地域社会の中で非常に心強い存在となっております。 神奈川県内の特に大和市のお取り組みに関しましては、全国に先駆けた先進的なフレイル対策として、厚生労働省で取り上げられたこともございます。さて、令和3年度介護報酬改定では、自立支援・重度化防止の取組の推進として、介護保険施設や通所介護等における栄養ケア・マネジメントの強化が実現できました。特に栄養ケア・マネジメントの重要性が理解され、管理栄養士の皆様のご活躍の場がより広がる制度となりました。また、本年は 12 月に東京栄養サミット 2021 のご開催が予定されております。国際的な栄養不良の改善、疾病の予防と治療に向けて各国から幅広いご関係の皆様をお迎えして友好と相互理解の醸成を図ります。 東京栄養サミット 2021 では、栄養のユニバーサル・ヘルス・カバレッジへの統合、健康的で持続可能な食料システムの構築、脆弱な状況下における栄養不良対策、データに基づく説明責任、栄養改善のための資金確保、の 5 つのテーマについて討議いたします。皆様とともに、栄養改善に向けた地球規模の取組を促し、SDGs に向けて貢献して参ります。これからも神奈川県栄養士会の皆様方のご指導を仰ぎながら、地域の健康づくりと課題の解決に向けて一歩一歩着実に取り組んで参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

日本栄養士会会員は、全員、連盟会員であってほしい！！

一人ではできないことも、大勢の力は実を結びます。　今回の連盟レポートは、栄養士会と栄養士連盟が共にたどった歴史の一コマとともに政治活動を考えました。より一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

「栄養士法改悪阻止決起中央大会」‥昭和57年を振り返って

栄養士は戦後日本の栄養改善に貢献しながら、何度も栄養士存亡の危機（栄養士法廃止・改正案など）にみまわれます。昭和 57 年、健康増進時代となり「行政管理庁」から栄養士免許制度廃止が提言されたときの栄養士会の行動をご存じでしょうか。栄養士会員 2000 余人と賛同を得た国会議員 100 余人が結集し決起中央大会を開催し、見事に栄養士免許制度は守られました。日本栄養士連盟が昭和 50 年に設立されて 7 年目の出来事です。この活動がなければ、今の時代に栄養士は存在していないかもしれません。しかし、なぜここまで追い込まれる事態になったのでしょうか。国策によって、栄養改善の担い手として養成された栄養士は、その必要性から、「まさか、制度の廃止などあり得ない」と考えていた？ または、「栄養士は天職、ボランティアでも人の役に立ちたい」といった意識が根強く、賃金、雇用など身分の向上をめざす政治活動には遠かったのでしょうか。これ以降、栄養士会・連盟は積極的な政策活動を行い、近年の介護報酬改定、診療報酬改定などに繋がっていきます。（藤原）

国への栄養関連予算等に関する要望は‥？

「栄養関連予算に関する要望書」は栄養士会と栄養士連盟が連携し、栄養士議員連盟に要望書を出します。議員がそれを深く理解し、国会に出し、多くの国会議員の賛成で予算化、法制化されます。例えば、令和３年度の介護報酬改定では管理栄養士の配置が位置付けられました。国会議員はいろんな団体の応援をされています。応援する会の会員数が多くて、できるだけ多くの国民の為になれる事へ力を入れてくれます。私たちの栄養士会、そして栄養士連盟の会員数をもっと増やし土台をしっかりさせないと力強く応援してもらえません。

日本栄養士会が公益法人になり政治活動ができなくなったことで、栄養士連盟は政治団体として別組織となりました。当然、会費も別々です。決して栄養士会の会費が安くなったわけではありません。2000 円の会費納入で、栄養士連盟の活動に一役買い、一緒に仕事内容や待遇をよりよくしていくために力を合わせましょう。（濱谷）

政治活動と組合活動

私たち栄養士連盟の行っている政治活動と所属する労働組合の政治活動のはざまで戸惑った経験はありませんか？

そもそも政治活動とは市民の要望や困っている現状を訴え、法律や制度の改善を促す活動で、憲法で保障されている権利です。ですから、栄養士連盟では栄養士会という組織の目的を達成するために議員を通して要請活動などを行います。また、労働組合は働く人の声を政治に届けるために政治活動を行います。それぞれ目的をもって組織的に活動していて、活動方法や要望先は異なります。二者択一ではなく、一人一人が目的や活動内容を理解し、必要と思える組織を支えることが希望の実現に繋がります。　（松本）

神奈川県内の栄養士議員連盟加盟議員

【衆議院議員】

2区	菅　義偉	13区	甘利　明
5区	坂井　学	14区	あかま二郎
10区	田中　和徳	15区	河野　太郎
11区	小泉進次郎		

【参議院議員】

島村　大
三原　じゅん子
中西　けんじ

編集後記

栄養士会、栄養士連盟を歴史的にみるにつれ、知らないことの多さを感じた暑い夏でした。コロナ禍の生活も間違いなく歴史に刻まれていくことでしょう。　（編集委員一同）

上記の国会議員の方々が神奈川県では栄養士を応援してくださっています。